

旅立ちの会 卒園児挨拶

3月14日、6名の卒園児の旅立ちの会は、和やかな雰囲気スタート。今回の目玉は、多くの方々から頂いたお祝いの映像をまとめたメッセージビデオを放映。旅立ちの言葉では卒園児代表の感極まるシーンが印象的で、手作り感のある良い会でした。

Yくん

私は、約16年間晴香園で生活できたことにとても感謝しています。後援会の皆様からの手厚いサポートをしていただけたことで習い事や塾に通うことができました。自分の好きなものを見つけたり、得意科目を伸ばしたり、苦手科目を乗り越えたりすることができました。私は12年間学校を休むことなく通うことができました。大学に行っても目標に向かって頑張ります。次に晴香園の職員に伝えたい2つの感謝があります。

一つ目は助けられたり、頼りになったという実感を伴う体験からくる感謝です。例えば進路に迷いや不安を抱いたときなどに相談にのってくれたことです。二つ目は日頃あたり前と感じてきたことにも感謝があります。具体的に一日三度の食事や職員の個性あふれる手作り弁当を作ってくれたこと、お気に入りのシャンプーや柔軟剤等の要望に合わせてた消耗品の購入を職員たちがしてくれたことです。

最後に、これから晴香園で生活し身に付けた力を最大限に活かし前を向いて進んでいきたいです。これから大学に行ったり就職する中で困難や大きな壁にあたることもあると思いますが、その中で自分だけでは解決することが難しいものもあると思いますが、その時は晴香園に来て助けてもらいたいです。

Rくん

初めに、これまで私が出会い関わる全ての方に感謝申し上げます。私はこれまでの日々は常に「運」に救われてきたような気がします。この晴香園に来たことから始まり、多くの方に出会い、学び今に至ります。ひとえに運といっても、それを掴むことができた環境全てに恵まれました。柔よく剛を制すならぬ運よく剛を制すという感じでしょうか。それに加え私の来るものも拒まずな性分も幸いしたこともあるかもしれません。私がこのように思うことができたのも、旅行や交流会等で多くの方に声をかけて頂いたからこそ自分の殻を破り、人の輪を広げ和を知ることができました。

こんなふうにして今まで過ごしてこられたわけですが、私も晴香園がずっと好きだったなんてことはなく、沢山の出会いと気づきの中で皆のことが好きになっていただけです。この忍耐強さも活かして、過ごしていきます。私が晴香園を去り、忙しく働く日々を過ごすときも、皆様の言葉を思い出して頑張ります。親愛なる私の家族に。



みんな笑みがこぼれる

Mさん

私は中学3年の11月から晴香園に在籍していました。高校受験の日が迫る中、志望校も決まっておらず、何も準備していない状態でした。皆様の応援支援がなければ今頃、高校に通えていたかさだかではありません。私が今こうして高校三年間通うことができ、無事に卒業し、就職もできたのは、晴香園や、後援会の皆様方のおかげだと思っております。本当にありがとうございました。

4月から社会人になりますが、晴香園で培った努力することの大切さ、何事にも全力で取り組む姿勢を忘れずに日々生活していきたいです。仕事にも全力で取り組み、常に学ぶ姿勢で取り組みます。

晴香園だより

題字
山本健治先生

第39号

発行

児童養護施設 晴香園
〒270-0011 千葉県松戸市根木内145
電話 047(345)2722
FAX 047(309)8807
E-mail: info@s-haruka.org

晴香園運動会



一致団結!エイエイオー!

11月17日、小さい子どもたちが中心の運動会を開催。そしてみらいの森の4名の方と一緒に競技して楽しく交流する場面も見られました。競技が始まるとチーム内で誰がどの種目に参加するか話し合い、得意な競技でその力を発揮し、子どもも大人も関係なく全力で取り組む姿が見られました。転んでしまったりボールが顔にぶつかってしまったり...それでも一生懸命頑張る姿、それを励ますように応援する姿は、とても微笑



ましいい光景でした。競技に参加しない大きい子どもたちも応援に来てくれたり自ら進んで審判やら大人の手伝いをしてくれたり、日頃見ることができない姿が見られました。

12月11日。今年も後援会の方々に、中学生以上の子どもたちを、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタでの食事会へご招待いただきました。クリスマススマイルドの最高のロケーションで、感動のショーを堪能させていただきました。

ミラコスタ 食事会

ここで新たに子どもと職員の絆や思い出が生まれていきます。令和最初の晴香園運動会はとても盛り上がる日になりました。



クイズわかったかな?

ミラコスタに足を踏み入れると、別世界で圧倒され、思わず子どもたちもスマホを取り出し「インスタ映え」な写真をパシャリ。どの食事も一流なお味で、大事に味わいます。そんな格式高いお食事の会に緊張しっぱなしの私をよそに、のびのびしている子どもたち。

さて、もうひとつの緊張の要因、準備に

マウンテンクラブ

準備を重ねた「子どもの頃の写真当てクイズ」が始まります。この日のために、晴香園の職員方に、小さかった頃の写真を提供していただきました。今なお残る面影、写真の年季の入り方、様々なヒントを元に、子どもたちが予想し答えていきます。正解していった子からプレゼントを頂き、無事盛況に終わることができました。日々、子どもたちと仲良く話したりぶつかったりする職員も、昔は子どもだったという事、そして子どもたちも、あと何年かすると立派な大人に。自分が大人にな

1月12日に神奈川県弘法山へ行ってきました。今年度最後は6年生1人、5年生1人、4年生3人と5人フルメンバーでの実施。直前まで雨予報が出ていましたが、無事にハイキングを行うことが出来ました。

朝、山岳会の方々と合流し「今日のリーダーは誰だ?」と訊かれた時、最年長のSちゃんがビシッと手を挙げて立候補。1年間ですっかりリーダーも板につき「来年うちが居なくなったらT(5年)がリーダーでしょ。大丈夫?」と自分が居なくなっただけのことも気にかけてくれていました。

行き道の河原でどんど焼きをしているのを目撃。4年生のHくんは興味津々で「何焼いているの? どんどん焼き? どんどん焼き!」とテン



水汲み体験!

子どもたちの間でドリチャレプチ会議が行われ、自分もやってみたいと希望を持っていて嬉しそうです。

ション高めの出発。…したのもつかの間、今回は3つの連なる山をハイキングの予定でしたが、最初の急斜面ですっかり意気消沈。「もうやだ；帰りたい；」とネガティブモード。「ここを登り切ったらお弁当だよ」の声掛けでなんとか踏ん張り、その後は山岳会の方々と一生懸命お喋りをしながら最後まで歩き切りました。

1年間かけて頼れるリーダーへと成長したSちゃん、運動が苦手ながらも1年間頑張って登り切ったHくん、クラブを通してそれぞれが成長を見せてくれました。

マウンテンこぼれ話
ドリチャレプチ会議

前回のハイキングの際に初めて海遊びを体験し、来年は海で泳ぐことを目標にしたHくん。今回の道中、江の島が見え「江の島に行くのもいいなあ」。Sちゃん「ドリチャレで島めぐりにしたら？うちは水族館で全国行くの。この前は沖縄行ったから、次は茨城にジンベイさん見に行く」。Tくん(4年)「僕はお城行ってるよ。来年も別のお城見に行く」と自身のドリチャレ体験を語る。今年度はプレゼンで二の足を踏んでいたHくん「俺も来年はやろうかな」と前向きです。子どもの夢を叶えるドリチャレですが、こうして子どもたち

ドリチャレ第6弾
「ジンベイと泳ぐの巻」

「私、泳ぐ練習してない…。」ぼつりSちゃんは口にした。「もしかして、海で泳ぐのが心配?」「うん、夏は泳げたけど今も泳げるか分かんない。」可愛らしい理由と心配だったが、Sちゃんにとつたら大問題。1日目の夕飯の時も2日目の夕飯の時も寝る前も口にしており、3日目の予定を最終日に伸ばした程である。「大丈夫。いざという時には、私が掴んであげるから。」気持ちを整え読谷村漁業組合へ。説明を聞くためにガイドさんを食い入るような真剣なまなざし、自らの身が振り落とされないようにに必死で船につかまる可愛らしい手、ドキドキと緊張と不安が入り混じった表情、どれも日常では見られないものばかり。そしてジンベイを追いかける148cmの細い身体。海から引き揚げられた時の表情は、満足を通り越し心地よさを全身で感じているかのようにだった。フライトに間に合うまでの3時間、余韻を



海!ジンベイ!サイコー!!

- 楽しむかのようには港でただただボーっと過ごし旅を結んだ。
- 今回のドリチャレでは、ジンベイザメの飼育員という夢が何らかの形で叶わなかった場合、次なる候補として沖縄に引越し、漁業組合でガイドになる道があるかもということを知る機会になった。
- Q 一番楽しかったことは?
 - A 大好きなジンベイザメと泳いだのが一番楽しかった。
 - Q 自分の2m下をジンベイザメが泳いでた! 10m位のサメだった!
 - Q 驚いたことは?
 - A 12月に行ったのに沖縄がすごく暑かった! 沖縄の人は「あのーあのー」って言う人が居て面白かった。沖縄の人はすごく親切だった。
 - Q ご飯は美味しかった?
 - A ご飯は沖縄そばと海ぶどうを毎日食べた。美味しかった。
 - Q 怖かったことはある?
 - A モノレールが怖かった。前を見て乗って落ちてたらと思ったら怖かった!
 - Q 来年のドリチャレは?
 - A 来年は金沢のジンベイさんに会いに行きます。

パネポン全国大会 への挑戦

パネルでポンというパズルゲームの全国大会にMちゃんが出場しました。全国大会に出場するにはパネポン上級者証明の条件をクリアしなければいけません。Mちゃんは現在中学1年生。パネポン歴は3年目で、その条件をクリアしています。出場自体難しい全国大会に行ってきたMちゃんにインタビューを行いました。



年上ばかりの中でも真剣勝負!!

- Q 何故、全国大会に出場しようと思ったの?
- A 強い人と戦いたかったから。
- Q パネポンのどういうところ

ろが面白い?

- Q 連鎖ができると楽しい。
- Q 将来はプロゲーマーになりたい?
- A 思わない。
- Q 実際に大会に出てみてどう?
- A 強い人と戦えてよかった。嬉しかったこと・悔しかったこと等の感想を。
- A 何回か勝てたことが嬉しかった。悔しかったことは連鎖ミスをして負けてしまったこと。
- Q 強い人のプレイを見てどのように感じた?
- A 連鎖が早すぎて気持ち悪かった。自分もあんなりたいと思った。
- Q また大会に出たいと思う?
- A (開催場所が)関東とかで近かったら出たい。
- Q 今大会を終えて次回のために何かやっていることはある?
- A 強くなろうと練習している。
- Q 最後に、応援してくれた方へメッセージを。
- A 励みになったし嬉しかった、ありがとう。

自分の気持ちを言葉にする

のが苦手なMちゃんですが、この大会に出るために職員に對して出たい理由や意気込み等を話してくれました。

迎えた当日、本番前のフリー対戦ではMちゃんの年齢以上にパネポンをプレイしてきた人たちの中でも手を抜かれることはなく、Mちゃんの実力が全国大会でも通用する事が分かりました。

本番のトーナメントでは、一回戦は突破し二回戦目で負けてしまいました。ルーザーズトーナメントに移り、一回勝ったが二回目で敗退。試合の合間に今大会の優勝者と戦うことができ、3分50秒の粘りを見せ「すごいね」と褒めてもらっている場面もありました。

本人は何回か勝てたので満



ホームで実況動画観戦!!

足したと言っていました。負けた時には「連鎖ミスった、ミスらなければもう少し良かった」と悔しそうな一面も見せていました。

自立に向けて M君

4月から自立に向けての活動を始めたM君、園内でお手伝いの要請があれば玄関先の掃除から花の水やり、家具の組み立て、さらには網戸の張り替えまで、なんでも率先して手伝ってくれました。防災・防犯主任に任命され、定期的に晴香園内を巡回してくれています。

6月からは本格的に活動を始め、7月には自動車の部品を扱う工場で3日間のインターンシップを体験。部品の

仕分けや商品を発送するため箱作りやシール貼りなど丁寧に扱う作業ばかりだったにもかかわらず、ホームにいるときは「優勝だった、全然疲れてない」と余裕たっぷりの表情を見せていました。しかし、ふと「疲れたし大変だった」と本音を漏らすこともあり、みんなの前では気丈に振る舞う

彼らしい一面を見ることが出来ました。

10月にはスーパーで品出しや野菜の袋詰めなどの業務を体験しました。初めは慣れない作業に手間取っていましたが、分からないところは担当の方に確認しながらこなすことが出来ていた様でした。また、女性が多い職場とのこともあり、日頃から鍛錬を怠らないM君は力仕事も任されることが多く、周りの職員からは非常に助かる、と頼りにされることも多かった様でした。12月には、スマホの契約も済ませており、「これがあれば仕事の連絡も出来るし、情報も集められるから」とますます仕事に対するやる気を感じるとることが出来ました。

M君に「働くこと」について尋ねてみると、「自分のため、自分で決めたことだからやるしかない」と力強い返事を聞かせてくれました。



だよりの発送作業もお手早い

新規会員ご入会 継続会員費納入

ありがとうございます。

新規会員ご入会及び継続会員会費納入ありがとうございます。お名前に誤字、脱字、記載漏れがありましたらお詫び申し上げます。

（今号では、令和元年11月1日から令和2年2月29日までにご入会の方及び会費を納入いただいた方を掲載させていただきます。）

（敬称略・順不同）

【継続会員】

- （株）ユーライフ (株)ライズ 松戸友の会 (有)シヨセ
- 土屋 供生
- 岩崎電気管理事務所
- 千葉少年友の会 松戸支部
- 有吉 浩二 会長 板倉 寛
- 福田 眞 山田 英明
- 藤永 健二 岡田 安生
- 板垣 弘毅 倉持 淑子

- 霜田 啓子 浮谷 俊行
- 加藤 康成 柴野 太郎
- 梅村 梅二 金鶴 友昇
- 豊田 明 梅本 真行
- 猿渡 英明 渡辺 雅子
- 石川 琢哉 上田 実帆子
- 木元 淳平 小川 千恵子
- 松丸 照雄 松丸 万利子
- 浅井 利明 松丸 由紀子
- レイク チャールズ&聖衣子
- 渡部 尚英・直美
- カンダ タカヨシ
- マエダ トシユキ

晴香まなび基金へのご寄付 ありがとうございます。

- 段下 裕貴 浅川 文雄
- 豊田 明 関原 國明
- 浅井 利明 佐々木 瑞恵
- 野呂 和子 野呂 佐知子
- 横山 博 東 秀隆
- 浮谷 俊行
- カンダ タカヨシ
- サントレーディング

心温まる厚志 ありがとうございます。

- ハシモト ヒサオ
- マエダ トシユキ
- ヤマウラ フミオ
- レイク チャールズ&聖衣子

- (株)Centurio (株)ライズ
- (有)松正 ドミノピザ
- One Step

- 佐藤食品工業(株)
- 二木の菓子柏店
- 更生保護女性会
- 社会福祉法人松戸市
- 社会福祉協議会

- 柏らーめん まとや
- (有)エヌハウジング
- M D R T 日本会
- (株)ドンク 代表取締役 中土 忠
- 山崎製パン 松戸工場
- 全国シヤンメリー協同組合
- セカンドハーベスト・ジャパン
- (株)J V 代表取締役
- 小笠原 拓海

- (株)フロンティア・エンタープ
- (有)カサヤ防災システム
- マルハン松飛台
- ほっともつと (株)プレナス
- 松戸市経済振興部農政課
- (二財) 日本児童養護施設財団
- 全国児童養護施設総合寄付
- サイト運営事務局
- 習志野市第三中学校PTA
- バザー係
- チュチュアンナ
- 公益財団毎日新聞
- 東京社会事業団
- 千葉西総合病院
- メルセデス・ベンツ葛飾
- 株式会社シユテルン葛飾
- 次長 長妻 行則
- (株)ブルボン 代表取締役社長 吉田 康
- (株)紀文食品 代表取締役社長 堤 裕
- アゼリーグループ 理事長 来栖 宏二
- 特定非営利活動法人 次代の創造工房 理事長 寺田 陽次郎
- 聖光ヶ丘病院
- プーノサミー ミコ ケビン
- 贈る手紙の会 事務局
- (株)日本教文社
- 松戸遊技業防犯組合

- 松戸駅周辺活性化推進協議会 三澤 達夫
- キコーナ松戸店
- サイバーステップ(株)トレバ 谷和原営業所
- (株)インサイベジフル柏店
- (株)アグリプラス
- 伊師湧昇堂
- 我妻 美根子 日向 恵子
- 富澤 和江 近藤 義明
- 城野 公正 上屋 潤
- 齋藤 義雄 鈴木 正孝
- 永田 三一 樋口 晴彦
- 吉井 秀仁 島根 明
- 三原 立子 須藤 勝
- 木内 綾乃 浅井 利明
- 栗林 俊展 長 明美
- 村上 才子 若林 桂子
- 中川 りつ子 石井 詩華
- 大平 高光 石川 真貴
- 須藤 晴美 木内
- 門司 一徹 染川 章子
- 関原 國明 佐藤 光子
- 菊井 深雪 城野 公正
- 片倉 隆行 中村 康子
- 福山 直樹
- 二瓶 高吉・チイ子
- 霜田 啓子・厨 英彰
- 貴園と同じ名の子を持つ母
- オガワ ヨシオキ
- 匿名

ボランティアのご協力
ありがとうございました。

○学習ボランティア

柴田 和子 田中 里奈

小林 由美子 遠藤 理趣

猿渡 英明 相澤 礼美

○遊びボランティア

松田 瑞樹

○読み聞かせボランティア

深山 喜子 高橋 千尋

湯本 佳子

○ピアノボランティア

石井 美和

○花ボランティア

NPO法人Imagine

副理事長 山下 緋沙子

松戸更生保護女性会

○幼児リトミックボランティア

黒田 静江

○誕生日ケーキプレゼント

オペラ座



晴香園後援会

後援会会長 松井 秀文



える時間となり、毎年、自分を見つめる場にもなり、これを継続することの大切さを感じています。

2007年、後援会がスタートした当時、幼稚園児だった子どもが今年高校を卒業しました。そんなに長い間、多くの方々が晴香園をご支援くださっているのだと改めて思いました。皆様のご支援、本当に有り難く、心から感謝しております。

今年は無専を1名、高校を6名の子も達が卒業し、5名が就職、2名が大学へ進学しました。本当に嬉しいことで、これも後援会の皆様のお力によるもので、ただただ感謝しております。

一昨年から、高校生と「進路を考える旅」を始めました。ここには先輩2人と私を含めて社会人3人も参加しています。昨年8月に水上で第2回を行い、自分は何を目指そうとしているのか、何を悩んでいるのか、といったことを一人一人が語り、皆で意見交換をしました。勿論まだ何も決まっていない、決められないという子どももいます

が、語ることで自身で将来を考

晴香園は「学ぶ力を高めま

る基本方針の1つにしています。その中で、塾へ通ったり、学習ボランティアや家庭教師に習ったりという学習面だけでなく、外部のキャンプに参加し、外部の高校生と交流しながらリリーダ活動も学ぼうという実践的な学習の場も作っています。園内のクラブ活動では15名もの子どもが卓球のクラブで活動し、外部の試合でも優秀な成績を収めていますし、マウンテンクラブでも6名の子も達が活発に活動しています。更に5名の子も達がボランティアの方々にピアノを習っており、情操面の教育も盛んです。

当然のことですが、園には多くの問題、課題があり、職員の方々も日々ご苦労をされています。ただ、そういう中で子ども達の成長につながる場をもてるのは、400人を超える後援会の皆様のご支援のお陰です。重ねて感謝申し上げますと共に、子ども達のために引き続きご支援を賜われれば大変有り難く思います。どうかよろしくお願い申し上げます。

後援会へのご寄付について

まなび基金へのご寄付について

みずほ銀行 北小金支店
口座番号 普通 3003243
口座名 社会福祉法人晴香（まなび基金口）

後援会へのご寄付について

※法人会員 年会費5,000円以上
個人会員 年会費2,000円以上でお願いしています。
みずほ銀行 北小金支店
口座番号 普通 3003235
口座名 社会福祉法人晴香（後援会口）

編集後記



新たな一年が始まり、皆さんはどうお過ごしになっていたでしょうか。オリンピックの年に胸をわくわくさせながらも、新型コロナウイルスの拡散にハラさせられた？ そんな感じだったでしょうか？ そんな中でも私のホームの受験生2人は、半袖、短パンで部屋をウロウロ。この事実が、新型コロナウイルスにも負けないハラハラ感でした。「なんか喉が…」お腹が…」と言われる度に心配させられていた3ヶ月間でした。とにかく『無事に合格して欲しい』と願っていました。また、他の子どもたちも去年よりひとまわり遅くなり、新たなスタートの匂いを漂わせていて、きっと今後も迷い悩みながらも一歩ずつ成長していくんだろかなんて感じています。



新たな1年が子ども達にとって良いものになりますように皆さんも見守っていただけたらと思います。

広報担当 永瀬 三浦 大塚